

国公立医科大学長  
国公立大学医学部長 殿  
各関係機関の長

山形大学大学院医学系研究科長  
上野 義之  
(公印省略)

病理診断学講座担当教授候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、病理診断学講座担当教授の退職に伴う、後任の教授候補者を公募しておりましたが、再公募することとなりました。

ついては、貴機関又は関係機関において、病理診断学（臨床病理診断全般）を主とし、さらにがんの分子病理学分野に造詣の深い適任の方がおられましたら、下記によりご推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、本研究科では、教員任期制を導入していることを申し添えます。

おって、候補者の方には選考の過程で御来学の上、面談及び御講演いただく場合がありますので、あらかじめ御承知おき願います。

謹言

記

1 提出書類

- |  |     |
|--|-----|
| (1) 推薦書 (A4判・縦型, 様式自由)   | 1 部 |
| (2) 履歴書 (別紙様式1)  | 1 部 |
| (3) 業績目録 (別紙様式2)   | 1 部 |
| (4) 公募による研究費受領状況一覧 (別紙様式3)   | 1 部 |
| (5) これまでの研究, 臨床成果及び医学教育の概要と今後の展望<br>(A4判・縦型, 3,000字以内, 様式自由)           | 1 部 |
| (6) 病理診断歴 (過去5年間にかかわった病理診断の疾患別の例数のリスト),<br>病理解剖実績 (過去5年間にかかわった病理解剖報告書) | 1 部 |
| (7) 主要論文別刷 (20編以内)   | 1 部 |

2 公募締切日 令和2年7月31日 (金) 消印有効

3 書類提出先 〒990-9585  
山形市飯田西二丁目2-2  
山形大学大学院医学系研究科長宛  
(封書には「病理診断学講座教授公募書類在中」と朱書のこと。)

4 問い合わせ先 山形大学医学部総務課人事担当  
TEL 023-628-5005  
FAX 023-628-5019  
メールアドレス isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(様式1)

## 履 歴 書

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇  
氏 名： 〇 〇 〇 〇 〇 昭和 32 年 (1957) 〇 月 〇〇 日生 (〇〇歳) 男  
(旧姓名：〇 〇 〇 〇)

所属・職種： 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授  
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇  
電 話：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
メール：〇〇〇〇@〇〇〇〇〇-u.ac.jp

現住所： 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍：〇〇〇県  
電話：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴： 昭和 57 年 (1982) 〇 月 〇〇大学医学部医学科卒業  
昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学  
昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 同 上 修了

免 許 等： 昭和 57 年 (1982) 〇 月 〇〇 日 医師免許 (第 〇〇〇〇〇〇 号)  
昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 厚生省 〇〇〇〇〇〇 資格認定医 (第 〇〇〇〇 号)  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 日本 〇〇 学会認定 〇〇 医 (第 〇〇〇〇 号)  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 日本 〇〇〇〇 学会認定指導医 (第 〇〇〇〇 号)  
学 位： 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 医学博士 (〇〇大学), または博士 (医学) (〇〇大学)

職 歴： 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 国立 〇〇 病院医員 (研修医) (外科)  
昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 同 上 辞職  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部助手 (〇〇学第二講座)  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 同 上 辞職  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇県立 〇〇 病院 (〇〇部)  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 同 上 辞職  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 米国 〇〇〇〇〇〇 大学研究員 (〇〇学)  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 帰 国  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部附属病院助教 (〇〇部)  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部講師 (〇〇学第二講座)  
平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部准教授 (〇〇学第二講座)  
現在に至る

所属学会等： 日本 〇〇 学会 (評議員：平成 〇 年～現在)  
日本 〇〇〇 学会  
日本 〇〇〇〇 学会 (評議員：平成 〇 年～現在)

賞 罰： なし

(様式2)

業 績 目 録 ( 枚のうち 枚目)

氏 名:

---

[ 原 著 ] ・ [ 症例報告 ] ・ [ 総 説 ] ・ [ 国際学会の Proceeding ]

- ① Yamagata T, Beniya H, Sagae M : Malignant Clinical features of anaplastic gliomas without IDH mutation. Neuro Oncol 17. 2015 : 136-144.  
(○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○, ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○, ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。)
- 2 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S : Angiographic circulation time and cerebral blood flow during balloon test occlusion of the internal carotid artery. J Cereb Blood Flow Metab 34. 2014 : 136-43.
- 3 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M : Risk assessment for venous thromboembolism in patients with neuroepithelial tumors : pretreatment score to identify high risk patients. Neurol Med Chir(Tokyo)53. 2013 : 455-466.
- 4 山形太郎, 紅屋花子, 寒河江光政 : パルスジェットメスを用いた蝶形骨縁髄膜腫摘出手術—血管温存能を活用して 脳神経外科 42. 2014 : 1019-1025.
- 5 上山洋一, 米沢恵美子, 山形太郎 : 脳腫瘍の最新治療法 Convection-enhanced delivery Clinical Neuroscience 31. 2013 : 1186-1187
- 6 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M : The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH mutation. Neuro-Oncology, 15. 2013 : suppl 3, iii223

[ 著 書 ]

- 1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S : The role of IDH1 and IDH2 mutations in malignant gliomas. In : Hayat MA, editor. Tumors of the central nervous system, vol.2. Spriger 2011 : Gliomas : Glioblastomas (Part2).
- 2 山形太郎 : 緊急対応を要する脳腫瘍 神経救急診療の進め方 脳神経外科 診療プラクティス 4, 文光堂 2014, pp167.

[ 学会発表 ]

- 1 Yamagata T, Higashine O, Sagae M : The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH gene mutation. (Poster) The 4<sup>th</sup> Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology, 2013, San Francisco USA.
- 2 山形太郎, 寒河江光政 : 神経膠腫発生に関与する遺伝子異常 (プレナリーセッション) 第32回脳神経外科コンgres, 2012, 横浜

---

記 入 要 領 (様式2)

- 1 原著, 症例報告, 総説, 国際学会の Proceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。  
なお, 印刷中 (In Press) の論文については受理証明書を添付してください。
- 2 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代の新しいものから順に記載してください。
- 3 具体的記載について
  - (1) 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会の Proceeding については, 原則として記載例にならってください。なお, 次の点にも御注意ください。
    - ・ 雑誌の略誌名は, Index Medicus 及び医学中央雑誌に掲載されているものに準じる。
    - ・ 全著者名を記入し, 本人名には下線を付する。
    - ・ 主要論文 (20編以内) に○印を付ける。また, 主要論文には日本語で数行以内の概要を記入してください。
  - (2) 学会発表については, 全国規模の国内学会での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限ります。

(様式3)

公募による研究費受領状況 ( 枚のうち 枚目)  
(過去10年間)

氏 名:

年 度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名
2013	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (代)	△△△△に関する研究
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究
2010	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2010年度~2013年度) (分)	□□□□に関する研究
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2010年度~2012年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究